

基 本 理 念

- ・すべての子どもたちの学びを実現するため、合理的で多様な学びの場を確保する
- ・義務教育段階での学校の意義と役割の大きさを踏まえ、学校教育の一層の充実を図る

基 本 的 な 考 え 方

- ・「不登校は誰にでも起こりうる」ことであり、状況に応じた必要な支援を適切に行う。
- ・「登校」という結果のみを追求するのではなく、子どもたちが自らの進路選択を主体的にとらえて社会的に自立することを目標とする。
- ・不登校の時期が本人の休養等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意する。



学校における不登校対策と支援 (具体的プラン)

未然防止

- ・ 学びへのモチベーションが高まる
授業づくり
- ・ 「つながり」のある安心できる
居場所づくり
- ・ みんなが安心して学べる
学校風土づくり

早期の兆候把握・ 早期支援

- ・ 兆候を見逃さない迅速な初期対応
- ・ 適切なアセスメントを通した「チーム
学校」での把握と支援
- ・ 保護者支援体制の構築

関係機関との連携

- ・ 特別支援教育の視点からの
連携
- ・ 家庭支援の視点からの連携
- ・ 学校・教育委員会・関係機関の
相互連携による役割確認

市・県による学校(児童生徒・保護者)支援の現状

- ・ SC(県・市)、SSW(県)、いじめ・不登校対策指導員(市)、
心理相談員(市)の学校配置
- ・ 市教育支援センター「虹の広場」での支援



今後の不登校対策(支援)

校内サポートルームの設置と拡充

- ・ 担当者の配置
(不登校支援コーディネーター)
- ・ 多様な学びの機会の確保

連
携

市教育支援センター「虹の広場」の拡充

【具体的プラン】

- ・ サポート体制の拡充
- ・ 支援の拡充(訪問支援チームの創設)
- ・ カウンセリングの役割の拡充

〈外部機関〉

- ・ 県公設フリースクール、民間フリースクール等